

# 校長室だより

丹波市立大路小学校

校長通信

令和8年3月号



大路小HP

## 【学校教育目標】

ふるさと大路を愛し 夢を求めて挑戦し続ける 大路っ子の育成  
～ ふるさと大路の輝く太陽になろう ～

## 【めざす児童像】

- 1 チャレンジ
- 2 つながり
- 3 けんこう
- 4 ふるさと

## 令和7年度を振り返って ～ 子ども達の成長・地域への感謝～

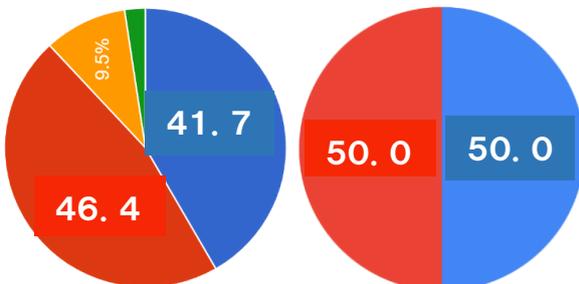
令和7年度を振り返りますと、子ども達は様々なことにチャレンジし続けました。毎日の学習はもちろん、気持ちのよいあいさつ、地域の方々とのつながり、たんば大路ふるさと学、運動会・音楽会・マラソン記録会など、目標を持ってチャレンジする姿は、眩しいほどに輝く太陽でした。1月に実施した学校評価アンケート結果において「学校が楽しい」「気持ちのよいあいさつ」の項目で自己肯定感が高まっていると感じます。また地域の皆様には、登下校における見守り、読み聞かせ、クラブ活動の講師、ゲストティーチャー等、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

## 学校評価 アンケート結果 ～ 抜粋 ～ 令和8年1月実施

大路小学校のホームページでは、全13項目においてカラーで掲載しております。

(単位 %)

### 楽しく学校に行っている

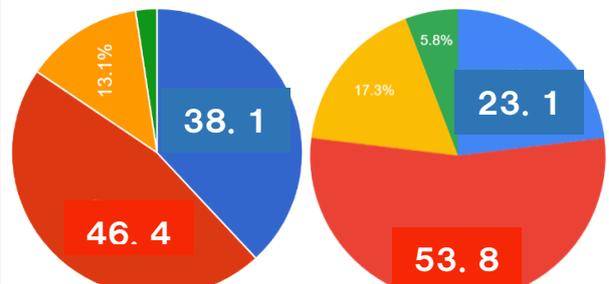


児童

保護者

● そう思う ● だいたいそう思う ● あまりそう思わない ● そう思わない

### 自分から気持ちのよい声であいさつしている



児童

保護者

「学校が楽しい」と回答した児童が9割弱、保護者は10割が肯定的な回答だった⇒引き続き多くの児童が学校生活に前向きである一方、より安心して過ごせる環境づくりが必要である。普段の児童の様子に心を配って声をかけ、学習面でのサポートを改善し、保護者と連携して対応することで前向きに学校に来ることができるのではないかと考える。そのため、全職員で児童の共通理解を図り、日々取り組んでいく必要がある。

児童は約8割強が肯定的に回答している。昨年度、保護者の肯定的な回答が約5割強だったのが、7割強に増えている。⇒児童と保護者との認識が近くなったのは、児童に「相手に伝わる挨拶を意識させ、声の大きさだけでなく、目と目をつないだり、会釈をしたりする方法も合わせて指導したことの成果であると考え。また、児童が主体的に挨拶をするよう、児童会と連携した「朝のあいさつ運動」の取組は継続していく。

今後も、誰もが安心して自分らしきを出せる学校づくり・学級づくりを目指して、「チーム大路」教職員一丸となって取り組んでまいります。保護者・ご家族・地域の皆様、ご支援よろしくお願ひいたします。

文責 廣瀬 ゆかり

